

科目番号	51001	分類		履修者	高度実践看護コース	学年	1
科目名	クリティカルNP特論 (Introduction to Acute Care Nurse Practitioners)						1
							前期
担当者	○山西 文子 他6名	区分	必修	単位	1	カリキュラム	15
						特定行為研修(実時間)	
						研修対応時間	4.5
授業の概要および目標				学位授与の方針と関連			
【概要】 諸外国におけるNPの現状から日本における高度実践看護師の課題を考える。またクリティカル領域における高度実践看護師の役割、実践内容を理解する。 【目標】 1. 日本における高度実践看護師の現状と課題を理解する。 2. クリティカル領域における高度実践看護師の役割と活動を理解する。 3. 諸外国におけるNPの現状から、日本における高度実践看護師の課題を明確にする。 4. 看護師の特定行為研修制度に基づく特定行為実践力を身に付けるための基礎を学ぶ。					1	クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力	
					2	クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力	
				○	3	患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力	
				○	4	専門職としての倫理的意思決定能力	
				○	5	高度看護実践者として、教育的経営的な視点をもつトップマネジメント能力	
				○	6	臨床実践に潜む暗黙知を形式知へと創出する研究開発能力	
					7	クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力	
授業計画							
回	内容						担当教員
第1回	I. 日本における診療看護師の現状と課題 (含む看護師の特定行為に係る研修制度、特定行為関連法規について)						山西 他6名
第2回	II. クリティカル領域における看護の探求・本コースの特徴・米国のNPの実際						
第4回							
第3回	III. クリティカルNPの役割と活動 -NPの経験を通して-						
第5回	IV. NPへの期待(「麻酔学の発展等について」を含む) ・硬膜外麻酔に関する局所解剖						
第6回	V. 諸外国におけるNP等の歴史と裁量範囲						
第7回	VI. 日本におけるクリティカル領域における診療看護師の役割と課題 (GWと学習共有)						
第8回							
事前・事後学習	事前学習：当日の課題に関し参考図書の内容と予習し理解して授業に参加する。 事後学習：授業の内容を配布資料と参考図書などで復習する。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み合わせること。						
評価の方法	プレゼンテーションの内容等および課題レポート(リアクションペーパー含む)でループリク評価法を活用し、点数化して総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。						
参考図書・資料等	『高度実践看護統合的アプローチ』 Mary Fran Tracy/Eileen T.O' Grady著、中村美鈴/江川幸二 監訳 へるす出版 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						